



平成 25 年 8 月 13 日
アンジェス MG 株式会社

当社提携先である Vical 社の Allovectin[®]第Ⅲ相臨床試験結果報告の経緯について

当社は、昨日、平成 25 年 8 月 12 日に「当社提携先である Vical 社の Allovectin[®]第Ⅲ相臨床試験の結果について」としてプレスリリースいたしました情報につきまして、下記の通り結果報告に至るまでの経緯及び業績への影響等をお知らせいたします。

記

1 結果報告に至るまでの経緯

当社は、平成 18 年 5 月に Vical 社との間で Allovectin[®]に関する開発及び出資契約を締結し、Allovectin[®]の第Ⅲ相臨床試験を相互理解のもと順調に進めて参りました。また、先般、当社からも開示しましたとおり、Vical 社が 8 月中にトップラインデータを公表する予定になっておりました。

しかしながら、昨日、平成 25 年 8 月 12 日に Vical 社から何の前触れもなく突然のプレスリリースを受けたことから、急きょ当社からもプレスリリースをいたしました。現在、Vical 社に Allovectin[®]第Ⅲ相臨床試験データの解析結果の開示等を求めているところです。

また、Vical 社の CEO のサマント氏が、Allovectin[®]プロジェクトを終了すると発言したことにつきましては、両社で事前協議をすべきことと考えており、この点につきましても Vical 社に詳細の説明を求めています。

また、当社は、Allovectin[®]に関するアジア地域における独占的開発販売権を有しており、メラノーマ（悪性黒色腫）以外の癌疾患での適用の可能性もあることを踏まえて、当該データを検討しながら今後の対応策を講じて参ります。

2 業績への影響及び今後の対応について

本件による平成 25 年 12 月期連結業績への影響はございませんが、当社は、Allovectin[®]を中長期計画の収益源の一つとして期待しておりましたので、この度の報告を受けて計画案を修正して参ります。今後、自社製品であるコラテジェン[®]、NF- κ B デコイ関連プロジェクト、CIN 治療ワクチンを始めとする当社プロジェクトを重点的に推進してまいります。